

尿留置カテーテル関連感染予防のケアバンドル チェックリスト

チェック項目	評価 (○・×)
◆ 手指衛生	
・カテーテル挿入前は手指消毒を実施し、滅菌手袋を着用している	
・尿回収前は手指消毒を実施し、清潔な手袋を着用している	
◆無菌的なカテーテルの挿入および 屈曲しない位置 での固定	
・カテーテルは滅菌手袋や滅菌鑷子を使用し無菌的に挿入している	
・男性は下腹部、女性は大腿内側にカテーテルが屈曲しないように固定している	
◆不要なカテーテルの 抜去	
・カテーテル挿入の条件を守り、不要なカテーテルは早期に抜去している	
【カテーテル挿入の条件】	
①急性の尿閉または膀胱出口部閉塞がある	
②特定の外科手技*のための周術期	
③重篤な患者の尿量の正確な測定が必要である	
④尿失禁があるかつ仙骨部または会陰部に開放創がある	
⑤長期の安静が必要（多発外傷など）	
⑥必要に応じて終末期の快適さを改善する	
*・泌尿生殖器の周辺構造で泌尿器科手術または他の手術を受ける患者	
・長時間の手術が予想される患者	
・術中に大量の点滴または利尿剤が投与されることが予測される患者	
・尿量の術中モニタリングが必要な患者	
◆適正な尿バッグの位置（膀胱より低い位置）	
・バッグが床に付かず膀胱より低い位置にある	
◆挿入前と毎日の陰部洗浄による 清潔保持	
・挿入前は汚染状況に応じて陰部洗浄を実施している	
・カテーテル挿入中、毎日陰部洗浄を実施している	
◆尿回収時、排液口を容器に接触させない	
・尿回収時、排液口を容器に接触させず、排液口のクレンメを閉めたのち先端を確実に収納している	

●カテーテル関連尿路感染症(CAUTI)やカテーテル関連無症候性細菌尿(CA-ASB)では尿道カテーテルの交換を行う